

## 第3学年 特別活動（学級活動）指導案

日 時 平成21年10月28日（水） 6校時  
学 級 第3学年 男子9名 女子8名 計17名  
授業者 教諭 高橋 順子

### 1 題材名

「私の生き方」

### 2 題材設定の理由

#### （1）題材について

学習指導要領特別活動〔学級活動〕の内容（3）は「学業と進路」である。このことについて学習指導要領解説によると、「生徒が、自己の将来に夢や希望を抱き、意欲的かつ主体的に学習に取り組むとともに、将来の生き方や進路に関する体験を得たり、情報の活用を図ったりしながら、自己の個性や学習の成果を生かす進路を自らの意志と責任で考え、選択していくことは中学生にとって極めて重要なことである」と述べられている。中でも、「主体的な進路の選択と将来設計」は、進路選択を控えた3年生の生徒にとって非常に大切な課題であり、将来の夢や希望に向かって一步を踏み出すためにとっても大切な学習になると考える。

現在は生徒祭の準備活動期間中であるが、3年生は生徒祭を終えると、いよいよ自分の志望校を決定する進路選択の時期を迎える。その時、どんな目的でその高校を志願するのか、将来就きたい職業や将来の生き方につながるような進路選択など進路に対する目的意識や納得のいく進路選択の大切さの必要性を再認識させ、進路実現に向けて前向きに取り組んでいこうとする態度を育てていきたい。また、お互いの思いを知ることで、進路実現に向け学級全員で支えあい、励ましあいながら進んでいこうとする、より温かい学級の人間関係をつくりあげていきたいと考えこの題材を設定した。

#### （2）生徒について

明るく活発であり、全体的に落ち着いた態度で学校生活を送っている。自分の力を高めたい、挑戦したいという意識を持ち、積極的に頑張ろうとする生徒が多い。修学旅行、体育祭、部活動等を通してリーダー学年としての意識が高まっており、自分の思いを素直に伝えようとする生徒も多くなってきている。また、仲間の思いもよく聴けるようになってきている。

進路の学習については将来の職業選択に向けて、また中学校卒業後の自己の進路決定に向けて、自己理解、進路選択のための諸条件の理解、職業観・勤労観の形成の援助など、進路学習を深め、進路選択に向けての心構えの育成と準備をしてきた。

#### （3）指導について

生徒は中学校卒業後の進路に向けて、選択の時期にきている。これに向けて、自己理解の援助や選択のための諸条件の理解、職業観・勤労観の形成の援助など、進路学習を深め進路選択に向けての心構えの育成と準備をしてきた。

今回将来の自分の生き方を考えさせることで、自分の進路を決定している生徒も、まだ決めか

ねている生徒も、今までの学習を統合し自分を振り返り、より強い目的意識を持って進路実現に向けて歩み出していくきっかけになると考えている。

また、一人ひとりが自分の思いを発表することで、進路選択は個人のことであっても、学級内でそれぞれ自分のことばかり考えていくのではなく、互いに励ましあいながら進路実現を目指していくための、温かい学級の人間関係のあり方について考えさせていきたい。

#### (4) 研究にかかわって

本校のコミュニケーション能力を高める手だてとして、「個の力を育てる」「スキル指導」「集団づくり」の3つの柱があるが、本時は「個の力を育てる」ことを中心とした学習を進める。

自分の生き方について発表する場面では、高いレベルの「自己開示」と「情報を伝える」力が必要になる。自分の思いが伝わるように相手意識をもった話し方をさせたい。また、仲間の発表を聴く場面では、仲間の思いの背景を思い浮かべながら（「他者を理解する」）、体全体を使って聴く姿勢を大切にさせたい。

### 3 指導計画

- 10月15日（木）短学活 「私の生き方」資料作り  
→15年後の私を想像しながら、そのためにはどんな進路選択が必要になるか考える。また、自分の15年後をそのように考える理由も含めてシートに簡単にまとめていく。
- 10月23日（金）短学活 「私の生き方」に関する簡単な資料を提示し、他の生徒に対する質問等を考えさせる。
- 10月28日（水）学 活 『私の生き方』の交流をとおり、皆で進路に向かう学級の雰囲気を作り上げよう」（本時）
- 10月29日（木）短学活 学習内容を振り返る。学習シートの活用。

### 4 本時について

#### (1) ねらい

進路実現に向けて学級全体で励ましあい、前向きに取り組んでいこうとする態度の大切さを理解しようとする。

(2) 展開

段階	時間	学習内容	学習活動	留意点 (支援)	研究とのかかわり (☆) 評価 (◎)
導入	5分	1 前回の想起 2 学習課題の確認 「私の生き方」の交流をとおして、皆で進路に向かう学級の雰囲気を作り上げよう	・前回の学習について思い出す。 ・学習課題を確認する。	・前回の活動について思い出させる。 ・本時の学習のねらいをしっかりととらえさせる。	☆あいさつ
展開	35分	3 「私の生き方」の発表	・身近な人が中学生の頃に考えていた「私の生き方」を聴く。 ・「私の生き方」を一人ずつ発表する。 ・発表者はメモに頼らずに自分の言葉で、考えや思いを発表する。 ・なぜそのように考えるのか理由や根拠となることも付け加えながら発表する。 ・聴き手は発表者に注目し、発表者の思いを受け止めながら聴く。	・教師がはじめに話すことにより、自己開示しやすい雰囲気作りのきっかけにする。 ・発表者が聴いている人のほうに体を向け、相手意識を持った話し方ができるように促す。 ・温かい雰囲気の中で発表者が発表できるように、聴き手を発表者に注目させる。 ・うなずき等の反応ができるように促す。 ・発表の後に、質問してみたいことや、発表に対するアドバイス、激励などを交流しながら、教師がコーディネーターとなって進行していく。	☆自己開示 ☆情報を伝える ◎自分の考えや思いを伝えようとするのができたか。(観察) ☆他者を理解する ◎発表者の思いの背景を考えながら、また、自分の考えと比較しながら聴くことができたか。(観察)
終末	10分	4 学習の振り返り	・学習シートで学習を振り返る。 ・感想を発表する。	・机間巡視 ・指名して感想を発表させる。 ・発表者に耳を傾け自分の感想と比べながら聞	☆自己開示 ☆他者を理解する

		5 まとめ		けるよう促す。 ・教師がまとめの話をす る。	☆あいさつ
--	--	-------	--	------------------------------	-------

### (3) 本時の評価

進路実現に向けて学級全体で励ましあい、前向きに取り組んでいこうとする態度の大切さを理解することができたか。